

かかりつけのお医者さんに

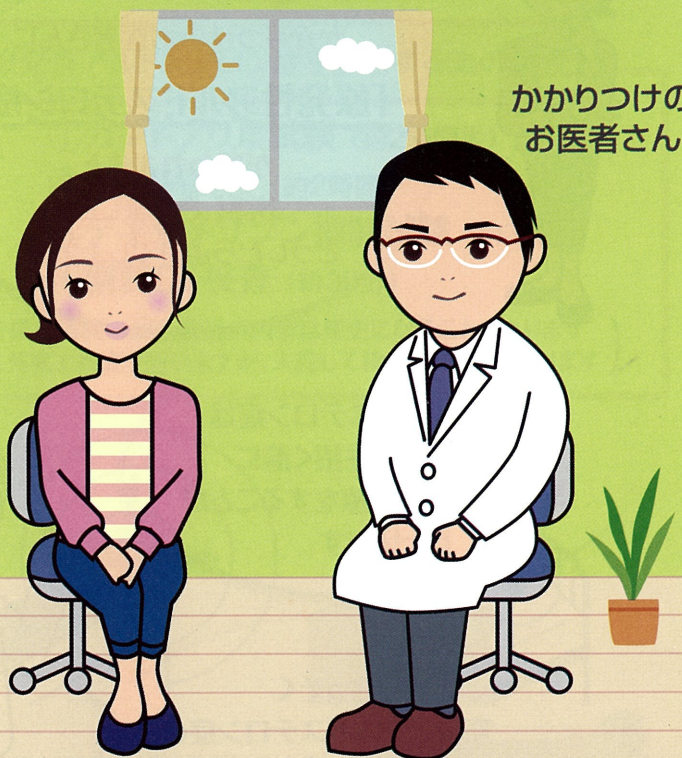
げん ぼつ せい

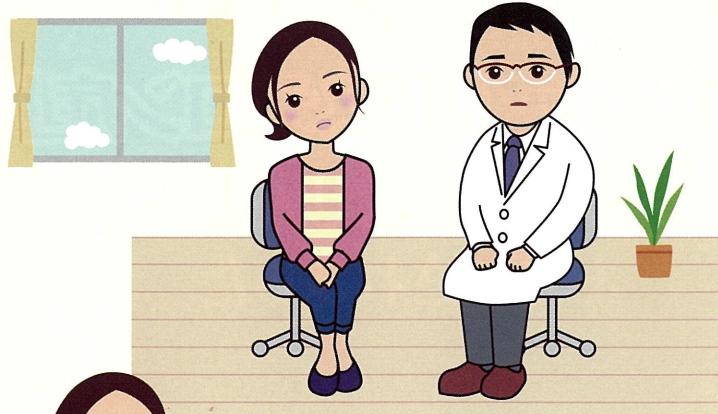
しょう

「原発性アルドステロン症」

かもしれませんと
お話しされました

かかりつけの
お医者さん





かかりつけのお医者さんに
「原発性アルドステロン症」
が疑われますと
お話しされました
どうしたらよいでしょうか？

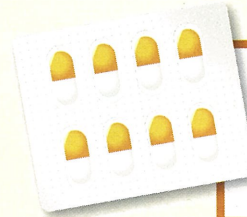
原発性アルドステロン症は
重い合併症を招く前に
早期に診断治療をすることが
大切です

さっそく
原発性アルドステロン症の
詳しい検査を
進めて行きましょう



検査の流れ

かかりつけのお医者さんより
専門医^③(東北大学病院など)へ紹介



現在内服されている血圧を
下げる薬(降圧薬)を
一部変更する事があります

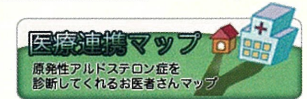
原発性アルドステロン症を診断する為の検査

- ①カプトプリル試験 (約2時間半)
- ②ACTH試験 (約2時間)
- ③デキサメサゾン抑制試験 (約30分)
- ④副腎CT検査 (約30分)

(患者様の病状により、検査の内容は変更になることがあります
主に外来で検査を行いますが、入院して検査することもあります)



③ 原発性アルドステロン症を診断してくれる
お医者さんマップに掲載されています



<http://www.primary-aldo-sendai.net>



検査の結果
原発性アルドステロン症
ではありませんと
お話しされました

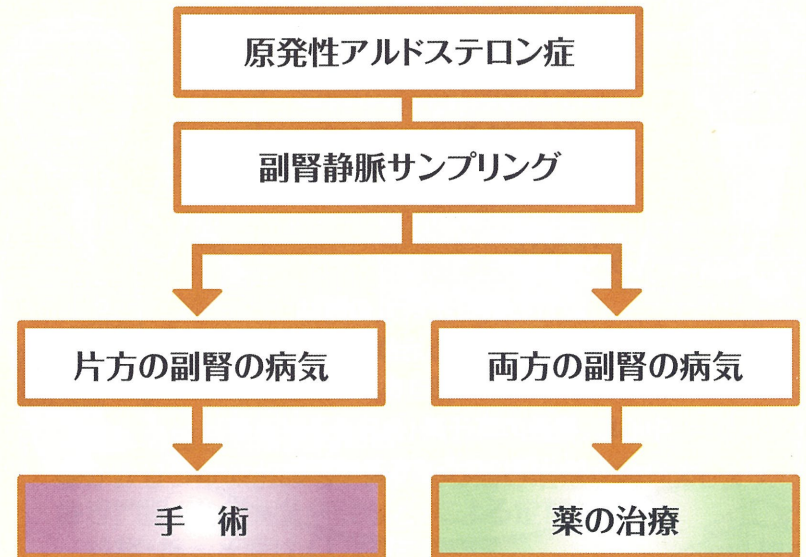
引き続き、かかりつけの
お医者さんへ通院して
お薬による高血圧の
治療を続けましょう

また、定期的
(半年～1年ごと)に
専門医の診察・検査を
受けられる事を
おすすめします



検査の結果
原発性アルドステロン症
と診断されました

原発性アルドステロン症は
大きく2つのタイプ(病型)に
分けられます
①片方の副腎の病気(片側性)
②両方の副腎の病気(両側性)
それぞれに治療法が異なる為
入院によるカテーテル検査
(副腎静脈サンプリング)
が必要です





片方の副腎が病気の場合は手術で治るのでしょうか？

はい!!

病気の副腎(片側のみ)を手術して取り除くことで原発性アルドステロン症が治ります



ただし、これまでの高血圧症の治療期間や腎臓の状態により副腎手術後も血圧を下げる薬の内服が必要なことがあります



両方の副腎が病気の場合は薬による治療ですか？

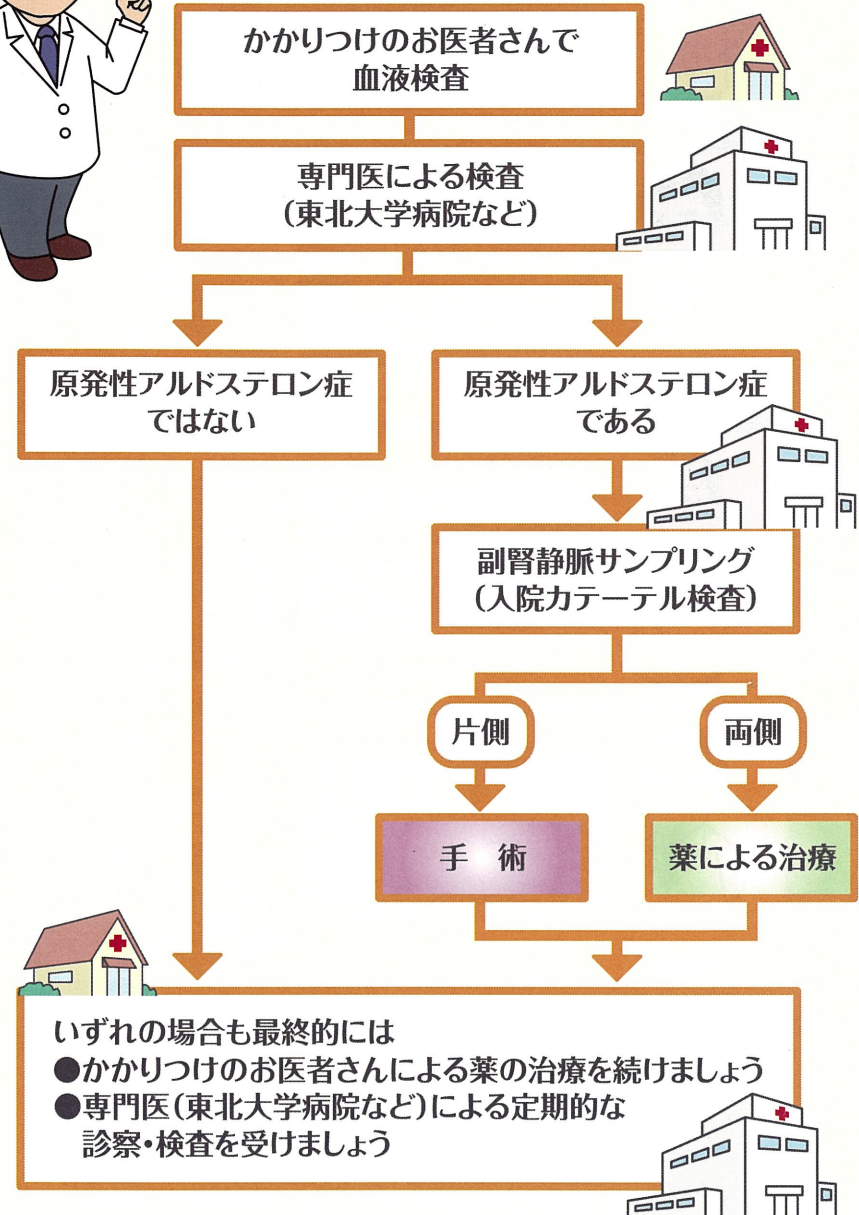
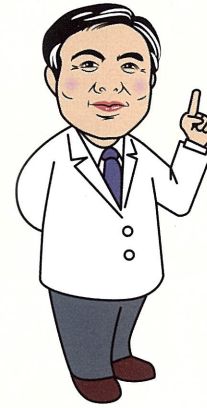
はい!!

両方の副腎が病気の場合は原則として薬による治療を行います^②アルドステロンの働きをおさえる薬を中心に、複数の降圧薬(血圧を下げる薬)が必要になる事もあります



②両方の副腎にアルドステロンを分泌する腫瘍がある時は副腎手術を行う事もあります

原発性アルドステロン症 診断と治療の流れ



東北大学病院では 「原発性アルドステロン症」の診断と治療を 積極的にすすめています



腎・高血圧・内分泌科 内分泌外来

(診断と薬による治療をします)



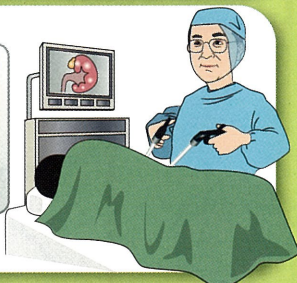
放射線診断科

(カテーテル検査をします)



泌尿器科

(副腎の手術をします)



病理部

(手術で取った副腎を
顕微鏡で調べます)



お問合せ

東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科

TEL 022-717-7778(平日8:30~16:30)

<http://www.tuh-endocrine.net>

<http://www.int2.med.tohoku.ac.jp>



<http://www.tuh-endocrine.net>



<http://www.int2.med.tohoku.ac.jp>